

① 「森林環境教育手引書」活用フォーラムの開催

未来の子どもたちにより良い環境を残していくためのSDGsの活動の一環として、森林環境教育を推進していく取組を近畿地方環境事務所と連携で実施。

当日は、山下京都教育大学教授の基調講演の後、「森林環境教育手引書」の執筆者から「見てもらいたい、使ってもらいたい」との思いをそれぞれ発表していただいた。会場及びオンラインにより全国30都道府県から160名超が参加し、現場の教職員を中心に森林環境教育に関心のある方に幅広く発信することができた。



② 「ESD for 2030 学び合いプロジェクト」 2022 年度 近畿地方ESD 活動支援センター 分科会での連携

近畿地方環境事務所と近畿地方ESD活動支援センターが主催する分科会において、近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センターが話題提供（実践）者として参加。学校の授業に有効に活用できるプログラムや専門的知識を提供し、学校教員と共に「ESD学習指導案」の創出を目指す。

今年度のテーマは

「脱炭素社会の実現に寄与するライフスタイルを促すESD 学習プログラムの創出」。

2022 年7 月29 日（金）～11 月28 日（月）にかけて 全5 回開催予定の分科会であり、3回目まで終了。

※ESD=環境教育、持続可能な開発のための教育